

2024まちづくりを考える日 発表団体に寄せられたご質問への回答

No.	事業名 (発表団体)	質 問	回 答
1	地域とともにある「子どもの居場所づくり」(NPO法人スペース)	それぞれの活動の実績を教えていただきたかった。	<p>令和5年度実績</p> <p>フリースクール ····· 小学生 延 198名 中・高生 延 217名</p> <p>長期休暇中の居場所 ····· 延 715名</p> <p>農業体験 ····· 延 83名</p> <p>ダンスで交流 ····· 延 88名</p> <p>プログラミング教室 ····· 延 87名</p> <p>学習支援事業 ····· 延 296名</p> <p>計 ····· 延 1684名</p>
2		参加者の多さもすばらしいと思いますが、大学生のボランティアの多さがすばらしいと思いました。参加してもらえるコツなどあるのでしょうか。	教育学部の皆さんは、1000時間体験学修から参加いただいている。他学部の皆さん、福祉や心理などのそれぞれのフィールドワークからのつながりで関わらせていただいている。
3		居場所はスペースはどんなところでやっているのでしょうか？	法吉町のスペース屋内にて活動しております。2階建てになっており、学習スペースや読書スペースなど、25名ほどが活動できる場所になります。
4		地区内の不登校児童を把握できていない。把握の手段、アプローチの方法が知りたい。	個人情報の関係もあり、児童を把握することは難しい。 こちらから主体的にアプローチすることはできていません。 学校との連携や、体験活動の際に相談を受けたり、他機関からの紹介を受けたり、利用者の知り合いからの相談等になります。
5	SUPでつながる、島根町の魅力創出事業 (公益社団法人 松江青年会議所)	地元の方の興味を引くためにはどうしているのか。	イベントの運営に地元の方に積極的にかかわっていただくよう声掛けをしています。今回は地元飲食店のほかに、警戒船を地元漁師の方に協力してもらいました。あとは公民館単位で区長の皆さんから住民に周知してもらいました。
6	松江ahaha！フェスティバル (ahaha!)	子育て世帯へのヒアリングを大切に企画され素晴らしいと思いました。事業支出、事業収入を教えてください。	今回のフェスティバルは、出店者様を募って開催し、私たちは主催者側として運営に回っていました。収入というものはありません。出店者からの出店料もすべて運営費として使用させていただきました。支出としては、今回まちづくり補助金約45万円を含め60万円程度でした。
7		たったお二人でここまで大きな取り組み、とてもすばらしい！と思います。インスタントハウス提供を受けたのは、どんなルート、つながりからでしょうか？	インスタントハウスは、名古屋工業大学の北川教授から頂いたものになりますが、ルートやつながりはありません。テレビでインスタントハウスを拝見し、これをフェスティバルに取り入れたいという想いから、大学に連絡をし、北川教授にアポを取り、北川教授が私たちの想いに賛同してくださったことで今回インスタントハウスを提供してくださいました。
8		5000名の参加者はすばらしいと思います。どのようなツールが一番効果的だったか教えていただきたいたい。	広告ツールとしては、新聞・市の保育園幼稚園にチラシを配布、インスタグラムでの宣伝等行いましたが、一番は普段から使用しているインスタグラムかと思います。私たちの記事を沢山の方がシェアしてくださり、広がったことが今回の集客につながったと考えます。
9	スーパーのない地域に私たちの手で賑わいを作り隊！ (ちくや朝市実行委員会)	スーパーのない地域との事ですが、月に1会では少ないように思いますが、開催日を増やす予定がありますでしょうか？	<p>地元有志で集まったメンバーで、それぞれに仕事も持っています。残念ながら、なかなかこれ以上回数を増やすのはむずかしいのが現状です。</p> <p>今後も月に1度のお楽しみとして、皆様の集える場として開催していくと思っております。</p> <p>機会がありましたら、ぜひご来場をお待ちしております。</p> <p>ご興味を持っていただき、ありがとうございました(*^-^*)❀*</p>

10	高齢者の見守りを通じた 地域の防災活動 (祖子分町内会【祖子分見守り隊】)	見守りを必要とする高齢者はどうして指定するか、 見守りは定期的にするのか。	質問をありがとうございました。対象者の指定は、この取り組みの核心の一つだと考えています。「見守ってほしい人」と「見守るべき人」は違うからです。最初に、町内戸アンケートで「見守ってほしい」人に希望を出してもらいます。その中で、本人の年齢や健康状態、同居家族の状況を役員で総合的に判断し、希望はあるけど対象にしない人を決めます。次に、見守り希望は提出されていないけど”対象者にすべき人”を役員で決めます。その場合、多くは家庭での人間関係、本人のプライドなど微妙な問題もありますので家庭のことが分かる役員が本人、家族に話し、納得されたら対象者として指定します。見守りのタイミングは不定期です。対象者やボランティアの負担感が無いようお任せしています。
11	入江の宝発掘プロジェクト (入江区)	地域の宝をPRしてほしい。観光地の案内役の育成はどういうにされているのか。	思いを共有する地域の有志を松江市八束支所が纏め役となりプロジェクトチームが出来ました。PR活動を展開する中で地域外からも共感する人が出て来ている現状です。携わる人の育成は、地域内外問わず思いの発信から始まるのではないか、本当にご縁でしょうか